

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 消防課

会議の名称	茅野市消防委員会		
開催日時	令和2年12月17日（木） 15時00分～17時00分		
開催場所	茅野市市民活動センター 3階集会室		
出席者	東城源消防委員会長 樋口三代正消防委員副会長 木村明美委員 両角一行委員 牛山積委員 池上泰司委員 勅使川原一幸委員 伊藤今朝秀委員 河西千代美委員 矢崎貞和委員 渋澤務消防署長 中野勝一消防係長 小泉幸彦主査		
欠席者	なし		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
東城会長	1 開会（渋澤署長） 2 消防委員会長あいさつ 3 消防署長あいさつ 4 諮問事項 （1）茅野市消防団総合計画（仮称）策定について 資料に基づき説明（渋澤署長） 質問・意見 総合計画策定の予定は？		
渋澤署長	令和3年度の完成を目標にしています。ですが、先日の理事者協議の中で大変な問題なのでじっくり進めるようにとお願いいたしました。		
東城会長	ずれ込んでいるといつまでも決まらないので、期限をしっかりと決めて、「ここまで作るんだ」という意思をもって進めていただきたい。 分団長さんたちも年に十何回も会議に出て、できなかったじゃ無念だと思う。そこはしっかりと、引き延ばさないでやっていただきたい。		
渋澤署長	わかりました。		
池上委員	時代が変わっているし、総合的に見直すいい機会だと思う。資料を見ると議論したことがよくまとめられている。 機能別消防団員はよく考えていかないと、部長・班長がやりにくくなって存在感がなくなってしまう。昔と今がごちゃごちゃになると、消防団の		

	<p>やり甲斐がなくなってしまう気がする。時代に合ったものを作っていたきたい。</p> <p>団員の報酬を個人に支払っていると聞いたが、人によってはほぼ出ない人、毎回出ている人がいて、出た人が損をしているようになってしまっているという意見もあるようだ。中には出ないのに権利ばかり主張する人もいるらしい。</p>
渋澤署長	<p>機能別消防団員については、策定委員会で入れるか入れない、何を入れるか入れないを含めて検討していますが、難しいところであります。</p> <p>報酬については今年度から個人支払いを行っていますが、受け取るのに引け目を感じて退団する方もだいぶいました。</p> <p>そのため、967人のうち例年は30～40名の欠員があるが、今年度はさらにプラスして30～40名辞めてしまった。実際には活動していなかった幽霊団員がいたのは事実です。</p>
東城会長	<p>報酬は減らしても出動手当を上げれば、不公平感が少なくなると思う。</p>
渋澤署長	<p>広域消防が一元化したことにより、火災現場からの引き揚げが早くなり、消防団の警戒をする時間がとても長くなった。例えば夕方に発生した火災だと一晩中ずっと警戒しなくてはいけない。それでも出動手当は千円であるため、考えていなくてはいけない。</p>
牛山委員	<p>来年度からは分団の操法大会はなくなるのか。</p>
渋澤署長	<p>まだ正式に決まっていないので、行うところもあるかと思います。</p>
河西委員	<p>分団の操法大会は任意で、分団3役の考え次第となります。</p> <p>茅野市消防団のポンプ操法大会は行いますが、出場は任意ということで、分団長会で決定しました。しかし、茅野市消防団主催の大会なので、出場しない分団でも部長以上は大会に参加して準備等に協力していただきます。ラッパも含めて任意となります。</p>
牛山委員	<p>救護大会は。</p>
河西委員	<p>救護大会は中止の方向で、代わりに講習会等の技術訓練を考えていますが、正式には決まっていません。</p>
牛山委員	<p>アンケート結果を見ると、その通りだと思う。我々の年代はポンプ操法大会があって当たり前という認識であったが、コロナ禍ということもあるので、検討するにはいい機会だと思う。</p>
両角委員	<p>地区ごとに区長さんを交えて消防団員が集まって意見交換して決めていければと思う。全体的な議論だと色んな意見がバラバラに出て、それが全ての分団に反映できるかといえば、疑問に感じる。できれば各地区ごとに</p>

	<p>も人員削減や出た意見を再検討してもらって総合計画に反映できるような形をとっていければと思う。</p>
<p>渋澤署長</p>	<p>同様の意見も出ています。削減ではなく、部の統合を取り入れる地区や分団もありますし、現状維持と言っている分団もあります。</p> <p>両角委員さんが仰るとおり、全ての分団が人員削減というのはなかなか言えない。結局分団ごとのたし上げがこの計画になってくる気もしていません。</p>
<p>木村委員</p>	<p>両角委員さんと同じことを感じていたんですけど、地域で諸事情が違うと思うので、地域で話し合いながらまとめたものを市全体でまた話し合っていたのが望ましい。</p> <p>これまでポンプ操法やラッパ吹奏の行事が消防団の主だったものになっていたと思うが、地域の有事に備えた日頃の活動ができればいいと思う。</p> <p>家族の理解も必要となってくる。富士見町を例に挙げると住宅補助が団員のメリットとしてある様なので、そういう部分も手厚くして、家族で消防団を支えていけたらいいと思う。</p>
<p>樋口副委員長</p>	<p>ポンプ操法の負担が多いという事で、各分団の大会については分団長の考えでいいと思うが、基本的に操法じゃなくても機関訓練をやらなければ消防団員ではない気がする。これが一番基本であるので、なんらかの形でやっていかなければ絶対いけないと思う。</p> <p>消防自動車 35 台を 10 地区の中で人口割りでもいいので、30 台としてどの辺の範囲に置くのか、それを決めないと団員も集まらないし、少ないところに 3 台もあっても困るし。その辺を踏まえて平等性を以って各分団に振り分けてもらいたい。</p>
<p>渋澤署長</p>	<p>地域性があって、人口は多いが面積が小さいので 1 台でもいいという分団もある一方、人口は少ないけど、広いので 3 台以上欲しいという分団もあります。それをうまく分けていければと考えています。</p>
<p>東城会長</p>	<p>難しいが、まず市としてある程度示せば、足りない分団は地区で買うのか、市で補うのかという議論になってくると思う。</p>
<p>渋澤署長</p>	<p>ポンプだけでいうと、現在のポンプ 74 台を金額に直すと 7 億 5 千万になるそうです。大雑把に言うと今は市が半分、地元に半分払ってもらっている状態。市としては現在のまま半分払い続けることは厳しいとのこと。半分にすると約 3 億 5 千万から 4 億ですけど、払うことができるのはその 8 割くらいではないかと。なので、3 億くらいを目標とすれば、市で負担できるのではないかと。あくまで担当者が言ってるだけで、市長がいいとは言っているわけではありません。</p> <p>約 30 世帯となっている行政区もあるなかで、このまま半분을地元に負担してもらうのは厳しいと思う。</p> <p>3 億を割り込むとだいたい地元負担金無しで 35、6 台になるのでそのく</p>

	<p>らいならいいのではと。市の担当者と話ただけですが。</p> <p>30 台とすれば、1 台当たりの団員を 20 人と考えて計算すると 600 人。本部の団員等諸々を合わせれば 650 人くらいになってくると思います。</p> <p>さらに多くのポンプ台数を望む場合は地区で購入を求めるのも難しいところであります。</p>
勅使川原委員	<p>せっかく策定委員の皆さんや市の関係者の方がこれだけしっかりまとめていただいているので、ぜひ実情に沿った改革を進めていただきたい。</p> <p>それと、防犯の関係は今後も消防団が携わっていくのか。</p>
渋澤署長	<p>非常に大きな検討事項ではあります。</p>
東城会長	<p>消防団が協力するのはいいが、全てを消防団に任せるのがよくない。</p> <p>組合長から副組合長まで全部消防団。みんなが携わらないといけないと何回も言ってきたが壁が高い。</p>
勅使川原委員	<p>諏訪圏域の他の地域はどうしているか。</p>
中野係長	<p>富士見、原も消防団がやっていて、その他の市町村は別の組織がやっています。</p>
牛山委員	<p>自分の地区はずっと継続して行っている。年に何回か、消防団員と消防団を退団した人が集まって、夜 11 時や 12 時ころ見回りをして、1 軒ずつ戸締りや車の施錠状況とか確認している。翌日、部長が見回りの結果を報告する。</p>
東城会長	<p>昔、消防車が横転して消防団員が亡くなる事故があつて、公務災害を申請する時に、暴走族みたいな連中が通ったので注意しようと防犯の関係で追いかけたと言ったら、公務災害の対象にならなかったことがあった。</p> <p>国や県は防犯を消防団の活動とは認めていない。</p> <p>消防団が協力することはできるが、全てを消防団が行うのは難しい。</p>
伊藤委員	<p>現役の方々が策定しているので、よくできていると思う。</p> <p>一つ気になったのが、団員と自主防災組織と書かれているが、これは団員が地区の防災組織に入っているということか。</p> <p>市から区長に、消防団員は災害時に団長の命令で動くので、自主防災組織に入れないように周知してはどうか。</p> <p>自分の地区は団員は指揮系統が団長や分団長となるので、自主防災組織からは外してある。</p>
東城会長	<p>総合計画に災害時の消防団の役割やどのような活動を行うかも記載しておいた方がいい。</p>
河西委員	<p>本日、委員の皆さんからいただいた意見を生かして、今後の策定委員会</p>

	<p>を進めていければと思います。</p> <p>それと、操法のことですが、ポンプ操法＝大会のイメージを持たれている方が大半かと思います。水を出すための最善の活動をするのがポンプ操法技術なので、その技術は年間通して訓練をやっていかないと、水も出せない団員が出てきてしまうので、ポンプ操法の訓練は今まで以上にやってもらわないといけないと思います。</p> <p>先程、勅使川原委員さんから出た防犯組合の関係ですけど、消防団員の負担軽減の一つと考えれば、我々茅野市消防団とは別の組織でやっていただければと思うので、検討していただければありがたい。</p>
矢崎委員	<p>今、河西団長が仰ったとおりであります。先程出た防犯の関係については、昔と違って地区にも運営協議会がありますし、代われる団体があると思います。</p>
東城会長	<p>一通り意見をお伺いしましたが、他にご意見があれば出してください。</p>
勅使川原委員	<p>例えば、中大塩分団を一つにするといった場合、どのような手順で行うのか。統廃合する場合とか。</p>
渋澤署長	<p>まず、条例、規則を整備して、この計画で決まれば基準日を設けて施行していきます。例えば、令和4年4月1日からやるとなれば、それまでに条例、規則の整備をして令和4年度の任命には中大塩の部長が1人とかになります。</p>
東城会長	<p>今は女性でもできる活動がたくさんあると思うが、ある程度の女性枠は設けるのか。</p>
渋澤署長	<p>活動内容に男女の差はあると思っていません。実際に現在、部に所属している女性もいますので。</p>
東城会長	<p>部に所属している女性は何人いるか。</p>
渋澤署長	<p>部に所属しているのは2人。中大塩と米沢です。</p>
東城会長	<p>本部に所属しているのは。</p>
渋澤署長	<p>本部は3人です。音楽隊まで含めれば、7～9人くらいです。</p>
東城会長	<p>音楽隊については、総合計画が策定されれば、機能別みたいな形になるのか。</p>
渋澤署長	<p>音楽隊は機能別になるのではないかと考えています。</p> <p>機能別もどうしても入れないといけないわけではなく、必要に応じてと考えています。</p>

東城会長	<p>どうしてもすぐには出動できない団員が多ければ、迅速出動のために機能別をいれておいてもいいと思いますし。</p> <p>ただ、ポンプ1台動かすのに人数が必要だから、とりあえず機能別で名前だけ入れとくっていうのは、まずい気がします。</p> <p>機能別を入れたら、それなりの訓練をしっかりとやって、クリアした人がポンプの機関ができるとかにしないと、事故につながる恐れがあるので、慎重にお願いしたい。</p>
牛山委員	機能別の拾い出しというかは、各分団や各部に任せるということか。
渋澤署長	<p>これから策定委員会で議論します。迅速出動とか出ていますが、例えば早く来て消防団員がやることってあまりないんですよ。常備消防が待機していますので、絶対常備消防の方が早いですから。</p> <p>去年の塚原の火災の時にはだいぶ活躍をしていただいた。消防協力隊というらしいですが、実際に軽トラックに小型ポンプを積んで北側の川に付いて放水をしていただいたようです。</p> <p>また、地区によっては消防団の部もあるが自衛消防隊を作っているところもあります。そういう方たちが機能別になり得るとイメージを持っています。</p> <p>例えば、消防の部に20名となっているが、20名出せないから、ポンプ1台15名となったので10名なら出せる。残りの5名は機能別に入れて15名にするというのは、今後また大変になってくると思うので、その15名は確実にいる、その上で機能別を検討してもらうのが一番いいと思います。</p>
東城会長	<p>例えば、茅野市の人口あるいは面積で見た時に、どのくらいの団員数が適正なのかという検討はあったのか。</p> <p>前に総務省消防庁から消防団員を人口100人に対し1人は確保するようにと周知されていた。すると茅野市では5万5千人だとすれば、550人は確保が必要となる。この割合が茅野市が当てはまるかわからないが、ある程度そういったことも視野に入れて検討する必要もあるのでは。</p>
渋澤署長	<p>900名の定数はここ何十年も変わっていません。音楽隊ができて増やしたとかいうことはあるが、900名になってから40～50年くらい経っていません。</p> <p>諏訪市はここで定数を削減しましたが、全体的に何割とかで減らしたのではなく、実際に1つの分団に人がいなくて、その分を削っただけです。なので削減ではなく、切れてしまったような感じです。</p>
東城会長	確認ですが、分団の数については10分団のまま変更はないということか。
渋澤署長	<p>分団の数は手を付けない、考えていません。</p> <p>それよりどうしても考えていただきたいのが、現在、90いくつ区や自治</p>

	<p>会があって、消防団の部が 65 部、残りの 35 区くらいには消防団がありません。それをなかなか検討していくのが難しい。</p>
東城会長	<p>地区名が付いている部が多いので、そこに住んでる人が対象というイメージ強い。自分の住んでいる所の地区の名前というのは愛着があると思うので、それを変えるというのは難しいかもしれない。</p>
渋澤署長	<p>災害起きたら茅野市消防団で動くというイメージが強くて、大きい災害になると、自分の所も災害が発生している、消防団のないところでも災害が発生しているとなった場合、他地区にはなかなか行けないと思います。常備消防もなかなか手が届かない。そういう時のための消防団なのに、ない所はなんとなく目をつぶってしまうという状況になっている。</p>
樋口副会長	<p>それはとても難しい。部落の中でも区費を払わない別荘扱いの家があるが、その家で何か起きたら当然行ってやらないといけない。</p> <p>それは 10 地区の中の区長会やコミュニティーセンターできちんと考えてもらわないといけないと思う。</p> <p>新興住宅街で自治会しかなくて部はないって所をほっとくわけにはいかないのでは。</p> <p>そこを消防団で考えるというのは大変なことなので、地域で考えないといけない。</p> <p>(2) その他 意見なし</p> <p>5 報告事項</p> <p>(1) 令和 3 年茅野市消防出初式について 資料に基づき説明 (中野係長)</p> <p>質問・意見なし</p> <p>(2) 令和 2 年度茅野市消防委員会下期行事について 資料に基づき説明 (中野係長)</p> <p>質問・意見なし</p> <p>(3) 各地区茅野市消防委員の選出について 資料に基づき説明 (渋澤署長)</p> <p>質問・意見</p>
東城会長	<p>消防団からまず団長、副団長の 2 名が選出されます。 次に議会から選出の 2 名が 5 月の連休明けくらいに決まるので、その 2</p>

<p>渋澤署長</p>	<p>名と消防団の 2 名を除いた地区の方から選出していただくようになり ます。 他に何か意見はありますか。</p> <p>その他の報告事項になりますが、ここで各地区の水防倉庫の整理をし ました。何十年もあった、ねこやむしろを全部引き揚げました。来年度から 予算を取りまして、水防資機材を新たに収めますが、現在、ちの地区の横 内水防倉庫を取り壊す予定なので、空にして、とりあえず西部分署の倉庫 をちの地区水防倉庫に代替えとしてあります。その関係で水防倉庫に消防 団の荷物がだいぶ入っているところがありました。消防団で使用するのは 構いませんが、半分くらいは水防資機材を入れたいと考えていますので、 地域で何かありましたら、そのように伝えてください。</p>
<p>東城会長</p>	<p>宮川水防倉庫も横内水防倉庫の対岸くらいの所にあるが、何か計画はあ るか。</p>
<p>渋澤署長</p>	<p>ちのと宮川、それと泉野が手狭なので、そのへんを考えていかないとい けないと思っています。</p>
<p>東城会長</p>	<p>水害についての意識も変わってきているので、是非、地元と検討して進 めていただきたい。 他に意見ありますか。</p>
<p>木村委員</p>	<p>策定委員は年度が変わればメンバーも替わるのか。</p>
<p>渋澤署長</p>	<p>来年度は 7 人替わります。</p>
<p>東城会長</p>	<p>また初めからになってもいけないので、しっかり申し送りをしてもら うように。 他はご意見よろしいでしょうか。なければ終了とさせていただきます。</p>
<p>7 閉 会 (中野係長)</p>	
<p>～ 17 時 00 分 会議終了～</p>	